

12. 外来生物展示センター＋苺藻島クリーンセンター 【兵庫・和田岬エリア】



「外来生物」を感じ・知り・考える/「クリーンセンター」の役割と機能を学ぶ

～住み続けられるまちづくりを目指して～



『外来生物展示センター』（苺藻島クリーンセンター内）

神戸市が全国の自治体で初の外来生物に特化した施設として2022年8月に設置しました。実際に外来生物を見る機会やその問題について知ることが少ない中、ブラックバスやアカミガメ等の生きた個体、アライグマの剥製やその他学習展示をご覧いただき、専門員が解説することで外来生物問題を感じ・知り・考えるきっかけとさせていただきます。苺藻島クリーンセンター内



『苺藻島クリーンセンター』

神戸市では、ごみの減量・資源化に取り組んでいますが、資源化できないごみはクリーンセンターで焼却し、それによって発生する熱で発電を行っています。苺藻島クリーンセンターは、平成29年に焼却を停止、ごみピットなどを中継施設として活用することにより、収集・運搬の効率化、温室効果ガスや自動車公害の削減など環境負荷の低減に努めています。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①外来生物展示センターの見学・説明
「展示ホール」「生物飼育棟」
- 11:00～ ②苺藻島クリーンセンターの見学・説明
- 11:30～ ③会議室にて質疑応答等
- 12:00頃 終了

実施場所：苺藻島クリーンセンター
神戸市長田区苺藻島町3-12-28
実施時間：平日 10:00～16:00の間（応相談）
所要時間：約2時間
実施可能人員：20名から最大50名まで
実施費用：お一人様 無料＋事務手数料
貸切バス駐車場：あり（無料）
最寄駅：地下鉄苺藻駅下車 徒歩約13分

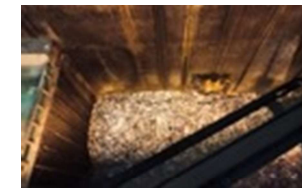
①外来生物展示センターの見学・説明

外来生物の侵入が、生態系や健康・農作物の被害等に幅広く悪影響を及ぼすことを専門員からわかりやすく解説します。
その後「生物飼育棟」で生きた個体を見学します。



②苺藻島クリーンセンターの見学・説明

クリーンセンターの役割と機能を現場で見学し、脱炭素化や再生可能エネルギーについて学習します。
【参考】映画のロケ地（2024年公開 はたらく細胞、HAPPYEND等）



③見学後に質疑応答・発表

見学後は、生物多様性保全や自然共生社会、環境問題について疑問に思ったことを、専門員に質問し、グループで話し合い、発表の場を設定します。



12. 外来生物展示センター＋苅藻島クリーンセンター 【兵庫・和田岬エリア】



学習のポイント

- ① 「外来生物」の問題を理解する
- ② クリーンセンターの役割を理解する
- ③ 生物多様性保全や環境問題について考える



学習の流れ（モデル）

